

令和3年9月8日

福島大学環境放射能研究所 国際シンポジウム開催のお知らせ

本学環境放射能研究所は、原発事故から 10 年を契機として、福島の現在と未来を語り合う国際シンポジウム「原発事故から 10 年後の福島の "森・川・海"と "食"~復興に向けて残された課題~」をコラッセふくしま(オンライン同時配信)にて開催いたします。本シンポジウムでは、福島の環境放射能に関する研究を実施してきた研究者が一堂に会し、この 10 年間でわかったことや、これから取り組むべき課題について明らかにすることを目的としています。専門家向けセッション(講演およびポスター)のほか、市民向けシンポジウムも開催し、現在も課題の残る「環境放射能」について参加者の皆様に分かりやすくお伝えします。プログラムの詳細についてはチラシをご覧ください。

原発事故から 10 年目のいま、科学的な視点から、福島の現状と復興への課題を 考える機会にできればと思います。皆様のご参加をお待ちしています。

記

●日 時: 令和3年10月11日(月) 12:30~18:50

(専門家向け講演)

令和3年10月12日(火) 10:00~16:45

(午前 専門家向けポスター発表、 午後 市民向けシンポジウム)

●会場:コラッセふくしま(4階多目的ホール・3階企画展示室)

およびオンライン配信のハイブリッド開催

●主 催:福島大学環境放射能研究所

共 催:国立研究開発法人日本原子力研究機構 福島研究開発部門

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

国立研究開発法人国立環境研究所 福島地域協働研究拠点

後 援:福島県

●申 込:参加無料・事前申込制

国際シンポジウム特設サイトにて 10 月 1 日 (金) まで事前参加 申込みを受け付けます。URL: https://www.ier-f.com/ 右の QR コードからも特設サイトにアクセスできます。

※当日の取材をご希望の方は、以下お問合せ先までご連絡ください。

(お問い合わせ先)

環境放射能研究所事務室

電話: 024-504-2114 FAX: 024-503-2921 メール: ier@adb. fukushima-u. ac. jp Sessions for Experts on October 11-12, 2021

10/11周-12**級** 専門家向けセッションも開催します。 Information in English!





Fukushima 10 years: Forest, River, Ocean, and Food - Remaining issues for restoration -

特設サイト: https://www.ier-f.com/

原発事故から10年後の福島の



市民向けシンポジウム

2021年 1 0月 1 2日火

13:00-16:45 @コラッセふくしま



各分野の専門家が福島の今とこれからを語ります。

福島の森林における放射能汚染の実態と今後の再生に向けて

福島の河川における放射性物質の 10 年とこれから 111 中西貴宏・五十嵐康記

東電福島事故起源セシウムの沿岸から北太平洋と その縁辺海における 10 年間の挙動とこれから

海と川の魚は語る:原発事故からの10年とこれから 鱼 和田 敏裕

浪江町の作物中放射性セシウム濃度と 摂取による内部被ばく線量 塚田 祥文

食品モニタリングから見える「食の安全」のこれから

田上 恵子 原子力災害からの復興における専門家の役割 高村

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

国立研究開発法人国立環境研究所 福島地域協働研究拠点

後援:福島県



復興









主催:福島大学 環境放射能研究所

共催:国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門

原発事故から10年後の福島の



~ 復興に向けて残された課題 ~

Fukushima 10 years: Forest, River, Ocean, and Food
- Remaining issues for restoration -

福島第一原子力発電所の事故から 10 年が経過しましたが、福島県における環境中の放射能に関しては解決されていない問題やそれに付随する風評等が依然として存在しています。

市民向けシンポジウムでは、「環境放射能」についてより深く理解いただけるように、また福島県の地域復興につながるよう、県内で研究を実施してきた研究者がこの 10 年間でわかったこと、これから取り組むべき課題について分かりやすくお話しします。

● 10月 12日 ② 市民向けシンポジウム プログラム

13:00 - 13:05	開会挨拶	三浦 浩喜	福島大学 学長
13:05 - 13:10	趣旨説明	難波 謙二	福島大学 環境放射能研究所 所長
13:10 - 13:30	福島の森林における放射能汚染の実態と今後の再生に向けて	林 誠二	国立環境研究所 福島地域協働研究拠点 研究グループ長
13:30 - 14:05	福島の河川における放射性物質の 10 年とこれから	中西 貴宏	日本原子力研究開発機構 福島研究開発部門 統合解析グループリーダー
		五十嵐康記	福島大学 環境放射能研究所 特任助教
14:05 - 14:25	東電福島事故起源セシウムの沿岸から北太平洋と その縁辺海における 10 年間の挙動とこれから	青山道夫	筑波大学 生命環境系 客員教授 / 福島大学 環境放射能研究所 客員教授
14:25 - 14:35	休	憩	
14:35 - 14:55	海と川の魚は語る:原発事故からの 10 年とこれから	和田 敏裕	福島大学 環境放射能研究所 准教授
14:55 - 15:15	浪江町の作物中放射性セシウム濃度と摂取による 内部被ばく線量	塚田 祥文	福島大学 環境放射能研究所 教授
15:15 - 15:25	休	憩	
15:25 - 15:45	食品モニタリングから見える「食の安全」のこれから	田上恵子	量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線 医学研究所福島再生支援研究部 グループリーダー
15:45 - 16:05	原子力災害からの復興における専門家の役割	高村 昇	長崎大学 教授 / 福島大学 環境放射能研究所 副所長
16:05 - 16:15	休	憩	
16:15 - 16:40	総合討論	ファシリテーター: 脇山 義史	福島大学 環境放射能研究所 准教授
16:40 - 16:45	閉会挨拶	アレクセイ コノプリョフ	福島大学 環境放射能研究所 副所長

専門家向けセッション(使用言語:英語)

● 10月11日 ② 口頭発表

12:30-12:35	開会挨拶		
12:35-13:10	基調講演 「Environmental impacts of the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant accident in the coastal waters」 日下部正志(海洋生物環境研究所 フェロー)		
13:10-13:45	基調講演 [Widespread diffusion of radioactive substances and deposition on the ground surface ~Airborne monitoring immediately after the accident and its fluctuations] 鳥居 建男(福島大学環境放射能研究所 特任教授)		
13:45-18:45	11名の研究者が、福島の大気、森、川、海、食に関する研究発表を行います(詳細は特設サイトをご覧ください)。		
18:45-18:50	閉会挨拶		

● 10月12日 ② 10:00-12:00 ポスター発表

オンライン 参加可

詳細は特設サイトをご覧ください。

会場でご参加の方も、

特設サイトから事前申込みを

お願いします。

特設サイト https://www.ier-f.com/



会場

コラッセふくしま

福島市三河南町 1 番 20 号(JR 福島駅徒歩 3 分)



福島大学環境放射能研究所

TEL: 024-504-2114 Email: ier@adb.fukushima-u.ac.jp